

表 2 : 性能表示基準の壁量計算

① 方向・階	存在壁量計算					地震に対する必要壁量計算								耐震等級		風に対する必要壁量計算			耐風等級			
	② 耐力壁の存在壁量 (cm)	準耐力壁の存在壁量計算			⑦ 全体の存在壁量 (cm)	⑧ 床面積 (㎡)	⑨ Rf= 2階床面積 1階床面積	⑩ Ki 階数=1 K2=1 階数=2の2階 K2=1.3+0.07/Rf 階数=2の1階 K1=0.4+0.6×Rf	⑪ Z 地震の 地域係数	等級ごとの屋根及び雪の重さによる係数				⑭ 単位面積 あたりの 必要壁量 (cm/㎡)	⑮ 必要壁量 (cm)	⑯ 壁量 充足率	⑰ 等級判定 ⑰ ≥ 1.0 なら適	⑱ 見付面積 (㎡)	⑲ 単位面積 あたりの 必要壁量 V0=34の時 =67	⑳ 必要壁量 (cm)	㉑ 壁量 充足率	㉒ 等級判定 ㉑ ≥ 1.0 なら適
		③ 種類	④ 準耐力 壁倍率	⑤ 壁の実長 (cm)						⑥ 存在壁量 (cm)	⑫ 等級2 屋根 による	⑬ 等級3 最深 積雪量 による	⑫ 等級2 屋根による 又は階数									
1階 X軸方向	3867.50				3867.50	82.80	0.78	0.87	1.0	45			39.15	3241.62	1.19	適	47.72	67	3197.24	1.20	適	
		計																				
1階 Y軸方向	3685.50				3685.50	82.80	0.78	0.87	1.0	45			39.15	3241.62	1.13	適	54.31	67	3638.77	1.01	適	
		計																				
2階 X軸方向	2957.50				2957.50	64.59	0.78	1.39	1.0	18			25.02	1616.05	1.83	適	19.16	67	1283.72	2.30	適	
		計																				
2階 Y軸方向	2366.00				2366.00	64.59	0.78	1.39	1.0	18			25.02	1616.05	1.46	適	23.16	67	1551.72	1.52	適	
		計																				

